



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
           益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
           (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
                   Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「あきらめないで」

ジャパンTVの連続テレビ小説「純と愛」という波乱万丈に満ちたドラマを時に見る。時々なので、その流れがつかみにくいのだが、とにかく純の仕事先のホテルが破産したり、彼女の両親の仲が良くなって、しまいは家族がバラバラになったり、今度は何とかそれまでの経験を生かしてホテルを立ち上げようとするのだが、それが客のたばこの火の不始末で丸焼けになり、純と愛という夫婦もついにその関係がおかしくなってしまう。そこで純が夫の愛(いとし)に語るとはなしにつぶやく、「何で、こんなことが次々と起こるのだろう」とか。そこで愛が声高に言った「俺だって分らないよ。説明できっこないよ。この世の中、ズルイ者が又クヌクと生きている。いじめや戦争がなくならないのはそのためだよ。でも、あきらめないで生きていかないと。愛するためだよ。大切な人を愛して、愛して、愛して、笑顔を取り戻して、仕合せにするためだよ」。

世の中がどんなに不合理で理不尽でも、それに左右されることなく、与えられた大切な人たちを愛し、彼らの笑顔を取り戻すことだとは言っても、どうしたらそのようにできるのだろうか。例えば教会での結婚式の時に、「健やかな時も、病む時も、なんじこれを受するか」と牧師に問われる時、誰だって新郎新婦はお互いに「ハイ」と答えるではないか。でも、一体、愛する者が病み続けるとしたら、その誓いの言葉も、どこかへ行ってしまおうというのが現状である。

僕が寝返り一つできなくなった妻の節子を二四時間体制で看護しなければならなくなった時、僕は「神様、一体あなたはどこに行ってしまったのですか」と何度、つぶやいたことだろう。でも、そんな僕の心を優しくしてくれたのは、やはり妻だった。節子はいつも寝る前に、必ず僕に「お父さん、ありがとう」と言ったものだった。そして妻はそれを最後まで言い続けたのである。その一言で僕はその日の心労が消え、新たに神が僕のそばに置いてくれた妻という隣人に仕えなければと、心を新たにするのであった。神が「お願いだから頼む」と言って隣に置いてくれたのが、伴侶という半身だからだ。だから現状がどうあれ、僕の最善のために神が定めて下さった隣人をあきらめてはいけないのだ。

マタイ伝に聖書で最も大切な戒めがある。それは「主なるあなたの神を愛せよ...自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ」(二十二・37、39)と云う二つである。隣り人とは妻であり、夫である。その半身を愛することが、そもそも神を愛することなのだ。愛するとは、あきらめないことなのだから！

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

